

記者発表資料

令和元年8月28日(水)
国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社
横浜工事事務所

神奈川県圏央道連絡調整会議(第1回) 開催結果について

本日開催した「神奈川県圏央道連絡調整会議(第1回)」の開催結果をお知らせします。

会議の概要は以下のとおりです。

<開催日時>

令和元年8月28日(水) 10:00~11:00

神奈川県 横浜西合同庁舎 6階会議室

<構成機関>

- ・関東地方整備局 横浜国道事務所
- ・神奈川県 県土整備局 道路部
- ・横浜市 道路局
- ・東日本高速道路(株) 関東支社 横浜工事事務所

<議事について>

議事の概要は別紙のとおり

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 045-311-2981(代表)
副所長 小澤 知幸 (こさわ ともゆき)

東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所 電話 045-352-3771(代表)
工務課長 佐藤 信吾 (さとう しんご)

神奈川県圏央道連絡調整会議（第１回）
議事概要

1. 日時

令和元年８月２８日（水） １０：００～１１：００

2. 出席者

神奈川県 県土整備局 技監（兼）道路部長 大島 伸生
横浜市 道路局 横浜環状道路調整担当理事 高瀬 卓弥
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所長 大江 真弘
東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所長 渡邊 正彦

3. 議事

- （１）横浜湘南道路・高速横浜環状南線の概要について
（２）用地取得・工事状況について（３）工事の課題について（４）意見交換

4. 議事概要

（事業者より説明）

○現在の状況

- ・横浜湘南道路・高速横浜環状南線ともに、土地収用法に基づく手続きによる用地取得を進めており、現在の用地取得率は約９９％。
- ・横浜湘南道路の本線トンネルは、５．４km（上下線計１０．８km）のうち、約３００mが施工済みであり、引き続きトンネル掘進を進める。また、（仮称）藤沢ICについては開削工事を実施中。
- ・なお、本線トンネル区間では可燃性ガス（メタンガス）の濃度が高い中で実施する地中接合の安全な施工方法や、水島の崩落事故に伴いセグメント厚が変更となった近接施工区間の安全な施工管理等について検討が必要。
- ・高速横浜環状南線の栄IC・JCTにおいては、橋梁下部工（全体１２４基）５７基が施工済み。今後、栄橋梁上部工の工事や戸塚IC～栄IC・JCTの土工事に着手予定。
- ・また、桂台トンネルではマシン発進基地となる立坑においてマシンの組立中であり、今後、本格的なシールド工事に着手予定。
- ・なお、地表への影響を低減するため、庄戸地区における施工方法を開削工法から非開削工法へ変更したことに伴い、低土被り部において、より安全に施工するための仮設方法等について検討が必要。

○今後の進め方

横浜湘南道路・高速横浜環状南線ともに、引き続き用地取得を進めるが、今後の工事について課題があることから、現時点において開通時期を見通すことは困難な状況である。よって今後、施工方法等について有識者委員会にて技術的な確認を行い、工程等を精査していく予定。

（意見交換）

○神奈川県・横浜市より、技術的難易度が高い工事であることは理解するが、早期開通できるよう、今後とも工事の安全やコスト縮減などにも十分配慮し、工事推進をお願いするとともに、引き続き用地取得や工事推進に協力していく旨の意見あり。

○また、横浜市より以下の意見があった。

これまで要望している本線事業費増加分に対する有料道路事業の活用、横浜環状南線の脱硝装置の設置等の環境に配慮した取組の推進についてお願いする。

神奈川県圏央道連絡調整会議 (第 1 回)

説明資料

令和元年 8 月 2 8 日

国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所

東日本高速道路株式会社関東支社
横浜工事事務所

<目次>

■ 横浜湘南道路

1. 用地取得
2. 工事状況
3. 工事課題

■ 高速横浜環状南線

1. 用地取得
2. 工事状況
3. 工事課題

横浜湘南道路 土地収用法手続きによる用地取得

【事業認定手続き】

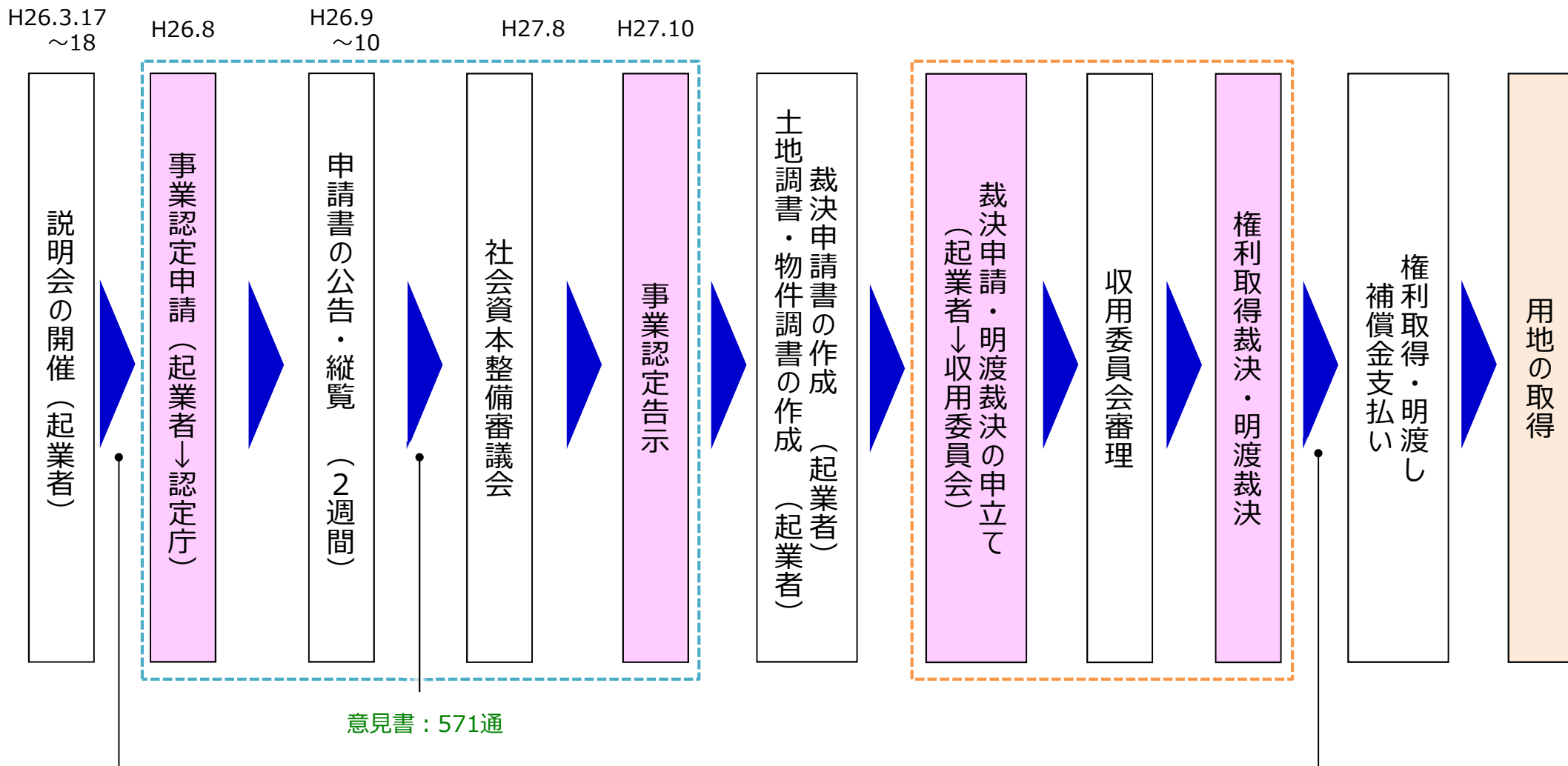
(国土交通大臣)

申請事業が土地を収用するに値する
公益性を有することを認定する手続き

【収用裁決手続き】

(収用委員会)

土地所有者等に対する
補償金の額等を決定する手続き

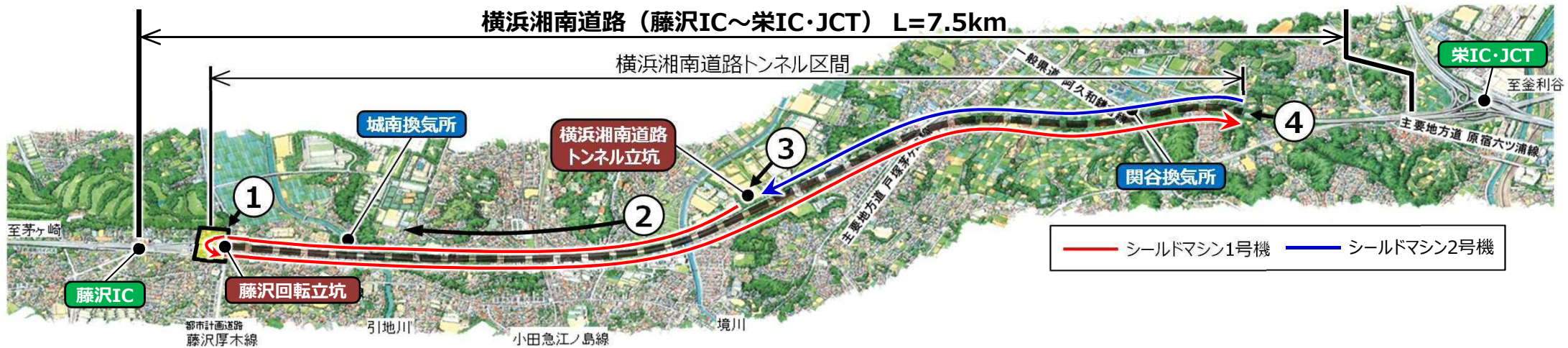


用地取得状況 (H26.7末時点)
用地取得率 : 約88% (面積ベース)

用地取得状況 (R1.7末時点)
用地取得率 : 約99% (面積ベース)

横浜湘南道路 工事状況①

全体図



シールドマシン1号機 施工状況



① 藤沢回転立坑施工状況(R1.6時点)



② シールド坑内施工状況(R1.6時点)



③-1 発進立坑地上設備(R1.6時点)



③-2 発進立坑地上設備内部(R1.6時点)

シールドマシン2号機 施工状況



④-1 横浜坑口施工状況(R1.6時点)



④-2 横浜坑口施工状況(R1.6時点)

横浜湘南道路 工事状況② ～トンネル～

■進捗状況(R1. 8時点)

発進立坑防音ハウス整備状況



発進立坑防音ハウス内部状況



トンネル急曲線部（発進立坑～国道1号直下）



トンネル本線部（国道1号直下）



横浜湘南道路 工事状況③ ～小雀地区、藤沢地区～

■進捗状況(R1. 8時点)

小雀高架橋下部施工状況



小雀地区改良施工状況



藤沢高架橋下部施工状況

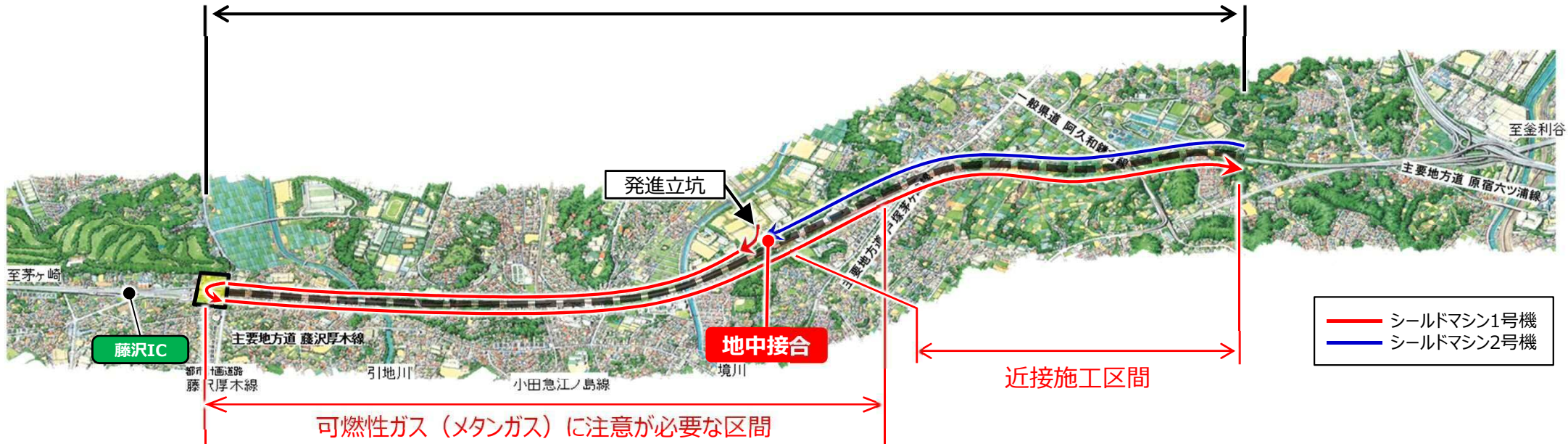


(仮称) 藤沢IC付近施工状況



横浜湘南道路 工事課題

横浜湘南道路 シールドトンネル 延長約5.4km



●地中接合

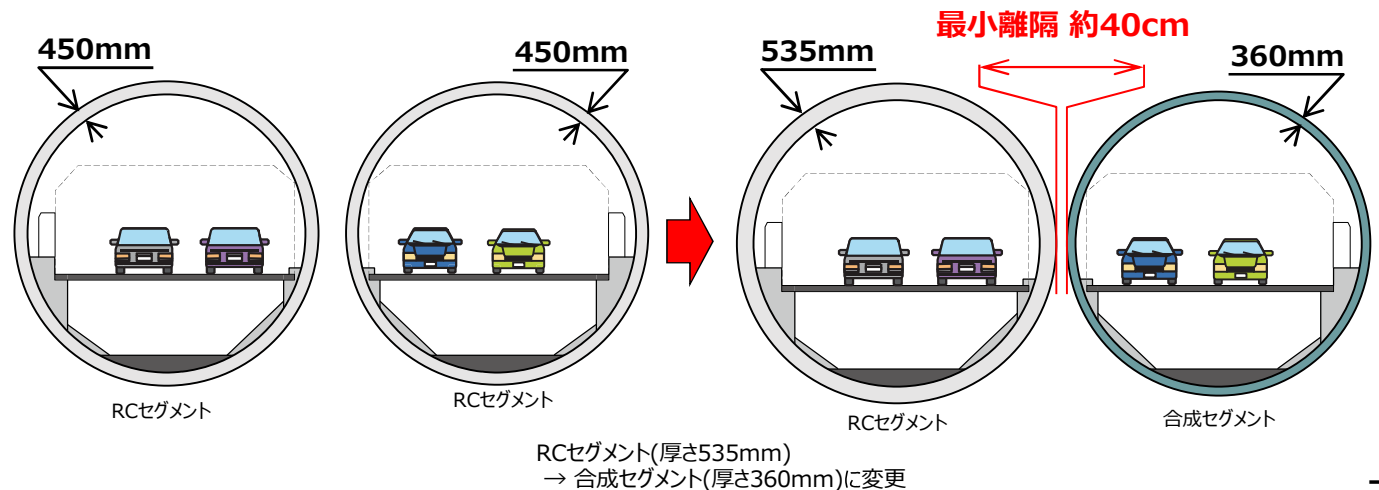
可燃性ガス（メタンガス）の濃度が高い中、実施する地中接合の安全な施工方法について検討が必要



地中接合イメージ図

●近接施工

過去のシールド工事崩落事故に伴い、基準が見直されたことにより、セグメントが厚くなり、トンネルの離隔が狭くなったため、近接施工区間を安全に工事するための施工管理等について検討が必要



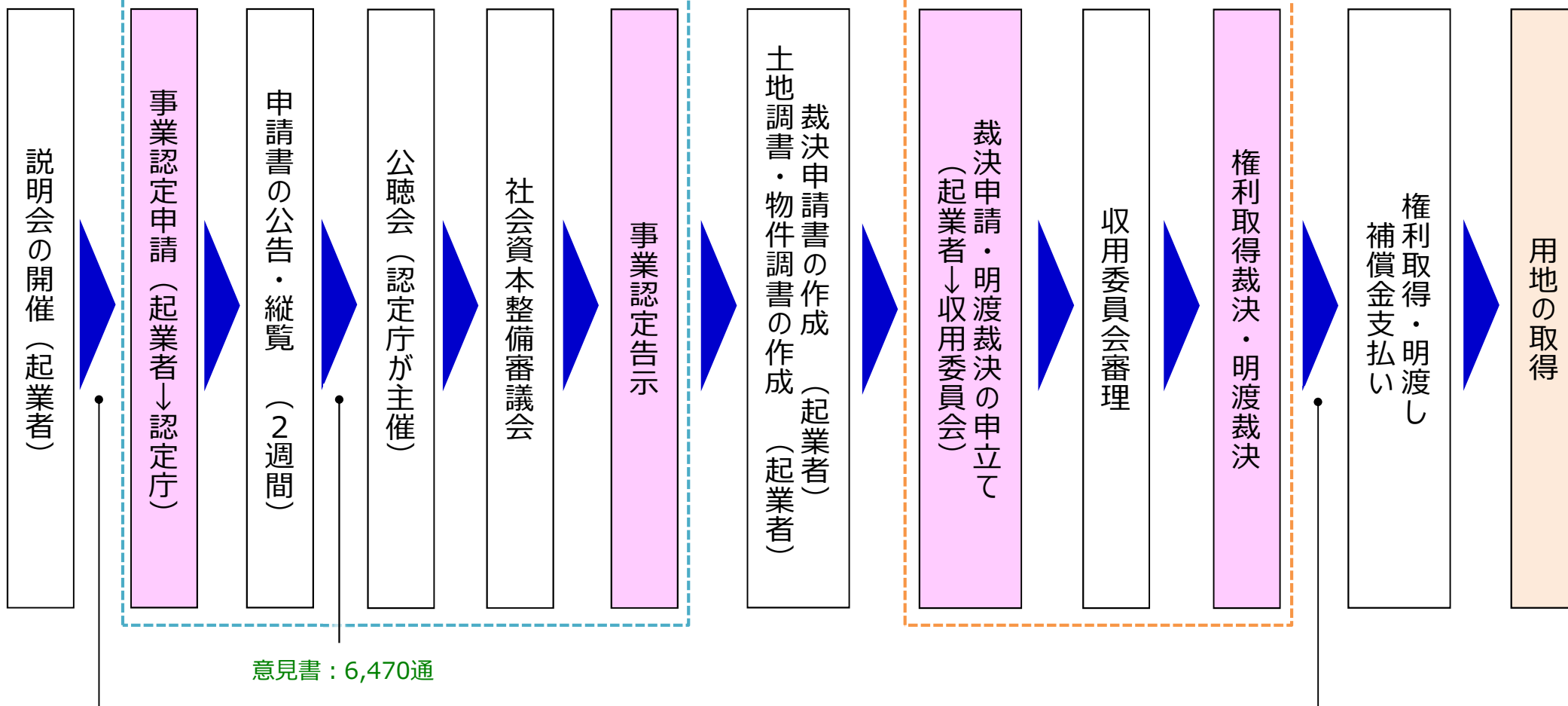
高速横浜環状南線 土地収用法手続きによる用地取得

【事業認定手続き】

(国土交通大臣)

申請事業が土地を収用するに値する
公益性を有することを認定する手続き

H26.3.17
~18 H26.8 H26.9
~10 H27.1 H27.8 H27.10

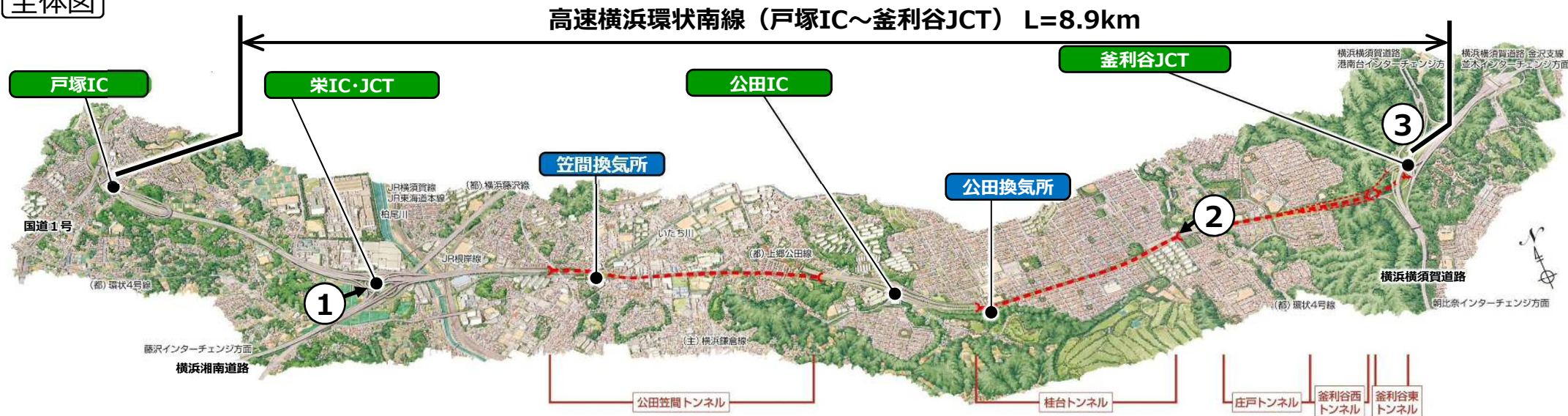


用地取得状況 (H26.7末時点)
用地取得率：約86% (面積ベース)

用地取得状況 (R1.7末時点)
用地取得率：約99% (面積ベース)

高速横浜環状南線 工事状況①

全体図



橋梁下部工 施工状況



①-1 栄IC・JCT 施工状況(R1.6時点)



①-2 上部工施工状況(R1.6時点)



①-3 下部工施工状況(R1.6時点)

公田IC～釜利谷JCT 施工状況



② 桂台トンネル発進立坑 施工状況(R1.6時点)



③ 釜利谷東トンネル 施工状況(R1.6時点)

高速横浜環状南線 工事状況② ～戸塚インターチェンジ～

■進捗状況(R1. 7時点)



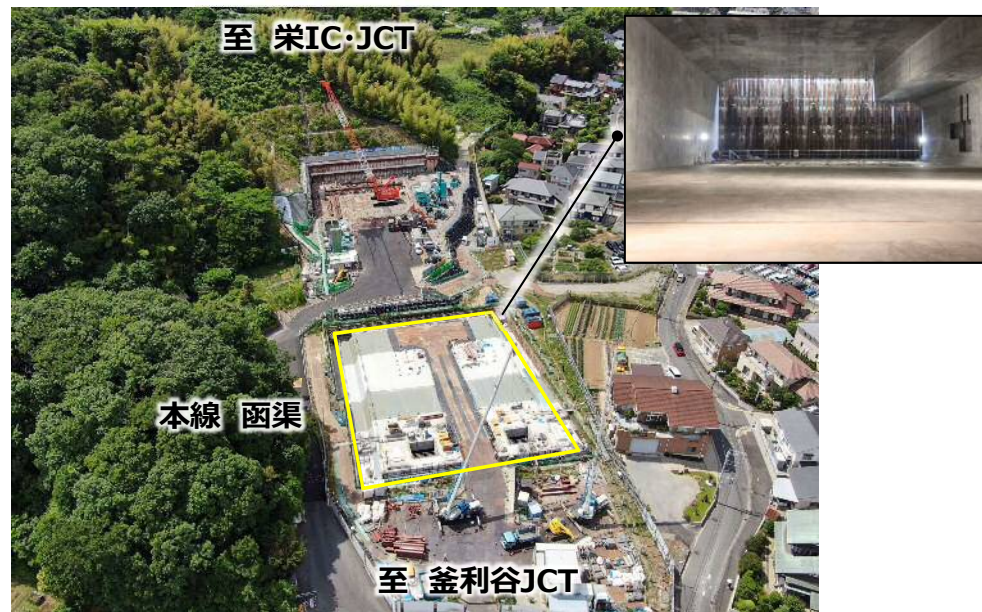
高速横浜環状南線 工事状況③ ～栄インター・ジャンクション～

■進捗状況(R1. 7時点)



高速横浜環状南線 工事状況④ ～公田インターチェンジ～

■進捗状況(R1. 6時点)



高速横浜環状南線 工事状況⑤ ～釜利谷ジャンクション～

■進捗状況(R1. 6時点)

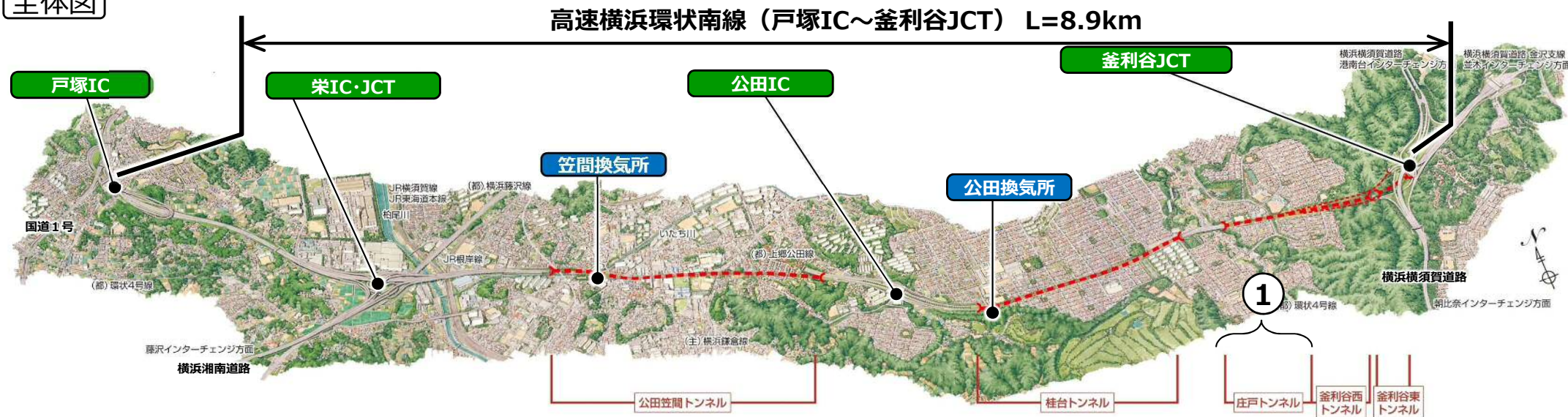


橋梁下部工施工中 (FP2)



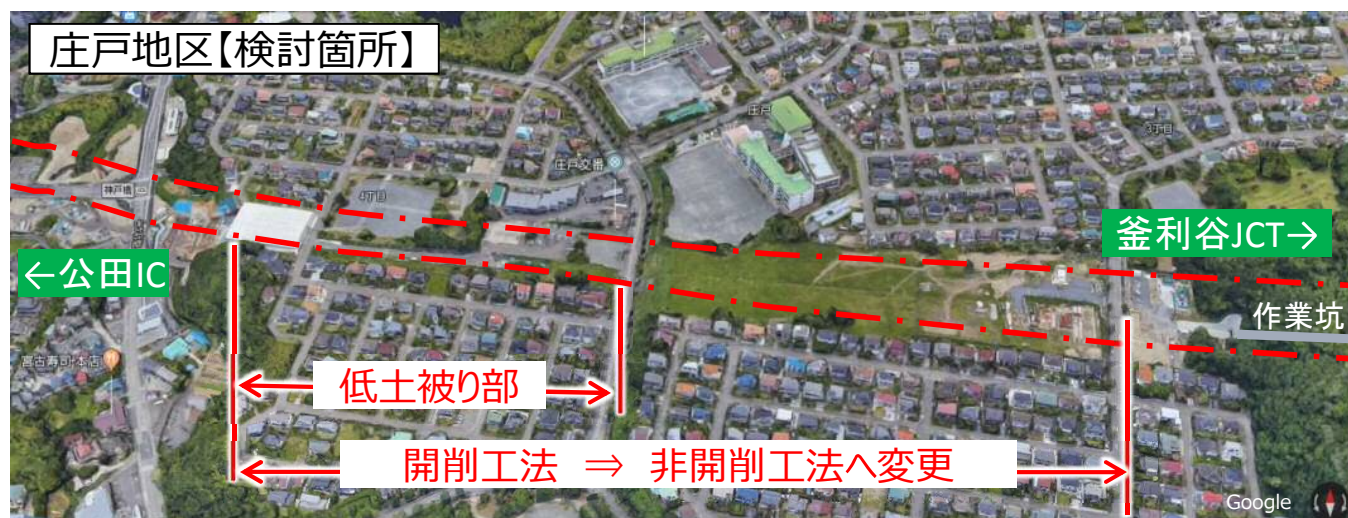
高速横浜環状南線 工事課題

全体図

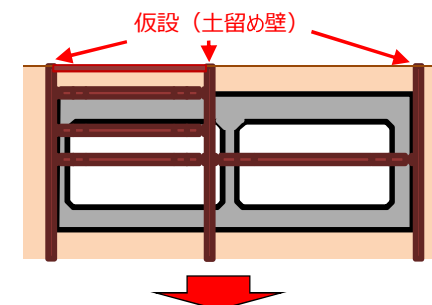


●トンネルの施工方法

・地表への影響を低減するため、庄戸地区における施工方法を開削工法から非開削工法へ変更したことに伴い、低土被り部において、より安全に施工するための仮設方法等について検討が必要。



開削工法：土留め壁施工後、掘削し、構造物を施工



非開削工法：先進導坑を活用し、構造物を施工

